

Bangladesh における牛と人



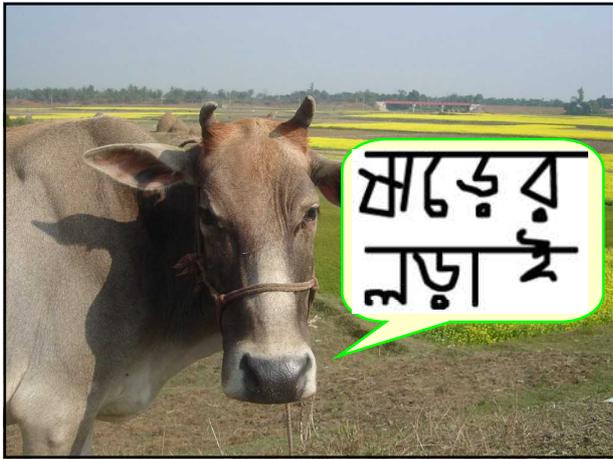
地理学D3 石川菜央

本調査の目的

調査期間: 12/14~1/4(3週間)

イスラム教徒の犠牲祭を中心に、祭の内容や人々の行動から Bangladesh における牛と人との関係を論ずる第1歩とする。

2



犠牲祭

- イスラム暦で年に1回
→ 偶然, 2007年1月1日! がイド
2008年には, 12月21日
- 牛やヤギを殺して神に捧げる
→ 毎年, 60万頭の牛と180万頭のヤギ
→ 鹿やラクダ(インド産)を用いる人も

4

犠牲祭の由来

今から約3000年前...

神

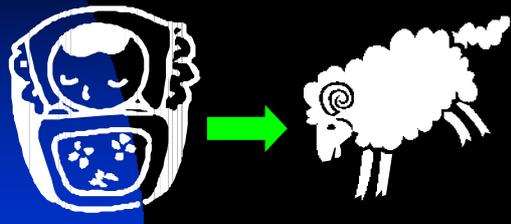
あなたの一番好きなものを私に捧げなさい




アブラハム

5

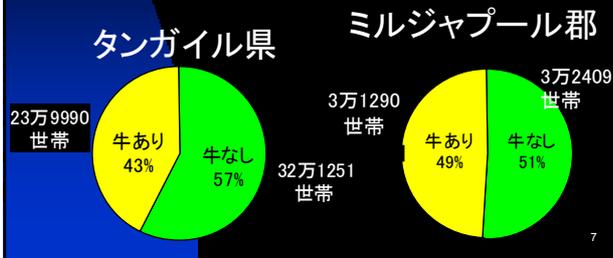
「あなたの子供を捧げなさい」



6

牛の飼育

- ベンガル語「グル」、牛肉「ゲルル・マンシヨ」
- 用途：農耕，肉，乳



食用牛

バリテ コエタ
グル アチェ?

- 各家庭で飼育
- 少ない現金収入の1つ
- 子牛購入費高い→ 全員は買えない
- PRRA・・・13人中4人

乳牛の飼育

- 2頭・・・在来牛×オーストラリア，140→15万円相当
→ 町長の家に輸入した精子あり
- 1頭・・・在来牛，30



肉牛の飼育

- 3頭(去勢オス)を4ヶ月前に2万タカで購入→肥育→4万タカで売る
 - 犠牲祭のための季節的な仕事(半年)
- 150～200kgの肉



1タカ=約1.7円

牛の餌



米，小麦，ふすま，豆，塩



牛の見張りをする少年

ナジルフセイン君(14歳)
ニルファミリ(インドとの国境付近)出身



父親亡くなる
↓
喫茶店
↓
漁手伝い
↓
牛の見張り¹²

牛の購入(ダッカ)

- 仲間でお金を出し合いor家で買う
- 300円相当のタカを払うと、2人が家まで届けてくれる



犠牲祭前日

カーン先生
・牛2頭、ヤギ8頭購入



14

犠牲祭当日

- 朝のお祈り後、家の前で殺して解体する。
- 専門の業者を雇う
→1頭につき1000タカ
- どんな感じ? かわいそう?
「神様がしなさいと言ったから仕方ない」



15

解体の過程

6:57 AM 牛とヤギを洗い始める
まさに「首を洗っている」状態



16

7:30 業者到着

7:35 解体開始

牛1頭目→ヤギ7頭→牛2頭目→ヤギ8頭目
1頭の牛・・・23分で大まかな解体



17

解体後

- 肉
- 3分の1・・・自宅で消費
 - 3分の1・・・親戚・近所に配る
 - 3分の1・・・貧しい人々に配る



まとめ: バングラデシュの牛と人

犠牲祭

飼育→購入→解体→調理

これらの過程に、専門職の人々だけでなく、**一般の人々が直接**関わる



日本と異なる、**牛観**、動物観

19

今後の課題

今回: 犠牲祭までの概要を把握



牛の**市場**に焦点

- ・売り手と買い手の属性(出身, 職業...)
- ・牛の産地, 肥育地, 消費地
- ・飼育から**売買**まで, 人の関わり

20

ধন্যবাদ

